

社協 みうら

164

May 2015

地域福祉の総合情報誌

三浦市総合福祉センター

〒238-0102 三浦市南下浦町菊名 1258-3

事務局（総務課・地域福祉課・事業課）

TEL 046-888-7347 / FAX 046-889-1561

発行責任者：川崎喜正

編集人：出口道夫

地域のためにできることを。

みうらの至福人

「福祉、ふくし」と言い続けるといつの間にか「至福」になる。みうらの地域福祉を優しく支える「至福人」をシリーズで紹介するコーナーです。今回ご紹介するのは、三浦市身体障害者福祉協会会長の飯島定夫さんです。「会員の年齢層が上がり、長年協会で行ってきたフリスピーやダーツといった競技をやる人が減ってきた。会の集まりに足を運べなくなつた会員のところには役員で訪問し、顔を合わせるようになっています。」現在会員を募集していることです。また飯島さんは、自家製野菜を「どんまい」の食材にと度々ご寄附くださいます。「実家が農家だから。地域のためにできることは協力したい。」と、支え合いの精神を体現し続ける飯島さんです。(杉崎)

みうらの至福人—飯島定夫さん

特集・三浦市社協 平成二十七年度事業・予算の概要

三浦市総合福祉センターからのお知らせ

レポート・おかえりなさいプロジェクト

自立相談支援センターいっしょー生活困窮者支援事業開始

「どんまい」が就労移行支援事業を始めます

三浦市ボランティア情報

居宅介護支援最前線—ケアマネジメントセンター「アンド」

福祉施設訪問記—介護付有料老人ホーム 油壺マリーナヒルズ

元気！社協の職員

持倉弁護士のワンポイント法律相談

平成27年度採用職員のご紹介

ありがとう高齢者ふれあいセンター

児童発達支援事業所HUGくみ 春の遠足

三浦市市制60周年・三浦市社協設立60周年記念福祉講演会のお知らせ

福祉カレンダー



60年の節目の年に飛躍を誓う！

重点目標

- 1 総合相談事業（生活困窮者自立支援事業）の充実
 - 2 地域リハビリテーション事業の充実と地域包括ケアシステムの整備
 - 3 福祉コミュニティの創造
 - 4 福祉人材養成事業の充実
 - 5 三浦市社会福祉協議会設立 60 周年事業の実施

事業計画・予算書の全文は公式 HP よりダウンロードできます。<http://www.shakyo-miura.com>

この一月一日、三浦市は市制施行六十周年を迎える。実は我が三浦市社会福祉協議会も三浦市の施行と時を同じくして設立されたのですが、そのことは、あまり知られていません。今から六十年前に任章団体として産声をあげた当協議会、初代会長を務めたのは、私の祖父にあたる当時の三浦市長、川崎喜太郎です。私事になってしまいますが、あれから六十年、私がこうして会長を仰せつかっていることを考へると、特別の感慨を抱かざるを得ません。平成二十七年度は、こうした節目の年にあたるのです。

この大切な年に、当協議会は、五つの重点事業をもつて臨む考えです。

そのひとつが、総合相談事業のさらなる充実です。なかでも、生活困窮者自立支援法に基づく相談支援事業がこれに加わることは、特筆すべきことでしょう。生活困窮者の支援に向けては、重要な四つの基本的な視点があると考えられています。①自立と尊厳②つながりの再構築③子ども・若者の未来④信頼と支えあいーがそれで、これを①包括的・個別的②早期的・継続的③分権的・創造的な3つの支援方策によって実現しなければなりません。我々は、こうした理念の実現に最も重要なファクターを「総合相談

業の実施など多様な相談窓口を持つて いるわけですが、この複数の相談機能を再統合し、包括的に生活困窮者を支援することが、今、強く求められています。一方で、地域社会に潜在する生活問題をその地域社会の中で解決しようという試みは、つまり、日常生活圏域において、総合相談システムを地域社会の特性を活かしながら構築することと同義でもあります。それはまさに、社会福祉協議会に課せられた使命でもあります。ことさら我々が、この総合相談力の獲得に傾注する理由もそこにあります。生活

力」と位置付けています。当協議会では、生活福祉資金の貸付、日常生活自立支援事業や法人後見の受任、ボランティア、市民活動の推進、就労支援事業の実践、地域包括支援センターの受託や介護保険事業の実施、そして、障害児者の相談支援事業



「三浦市地域福祉センター」に新設された特設リハ・ルーム

局内に「介護職従事者等人材養成・研修センター」を併設し、専任の担当主幹を配置する考え方です。

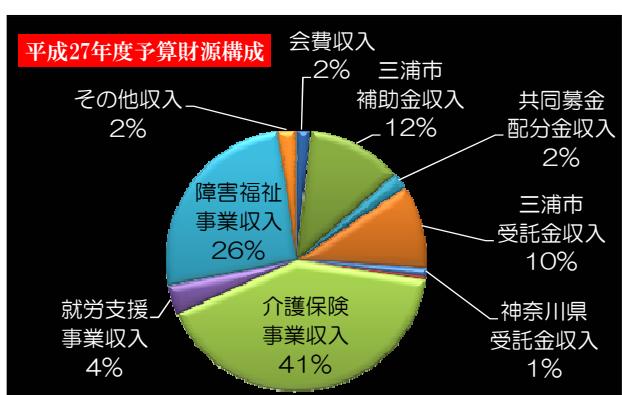
平成二十七年度予算は、これらを新規事業として予算編成されました。

もとより、その道のりは多難なものとなるでしょう。しかし、だからこそ市民協働の姿勢を崩すことなく、山積する生活課題の解決に向けて確実なる

できる市民交流ルームを新設し、当該施設が本来の役割を果たせるようリニューアルするとともに、介護予防の新たな拠点として再生させます。

い・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に向けて邁進する覚悟です。そのための土台づくりとして、福祉コミュニティの創造と福祉人材の養成に全力を傾けます。具体的には、地方自治法に基づいて指定管理する三浦市地域福祉センターにリハビリームと地域の高齢者らが自由に使用

組みは、地域福祉を推進するためのツールであり、生活困窮者の支援のみをゴールとするものではありません。生活困窮者の自立支援事業への取り組みを通して地域福祉のさらなる推進をめざすことがあります。また、団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年を目途に、重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住ま



【解説】

平成27年度における財源構成比率は、左グラフのとおりとなります。会費を除く事業収入で7割を超えており、いわゆる事業型社協と呼ばれる所以ですが、収入の6割強を地域福祉事業に繰り入れていることを考えると(残額は各基金の造成と三浦市総合福祉センターの修繕費用に充当)、「事業型社協」というよりも社会福祉協議会の使命を順守した「経営型社協」という表現の方がより妥当かも知れません。三浦市からの補助金は1割強。地方自治法において「普通地方公共団体は、その公益上必要がある場合においては、寄附又は補助をすることができる。」(第232条の2)とされており、これを根拠に補助していただいたものです。委託事業に関しては役務の対価となります。例えば同じく地方自治法に基づいて指定管理する三浦市地域福祉センターなどは、昨年度から委託料ゼロで、これを受託し施設管理をおこなっています。これについても、介護保険事業等の収益が充てられています。

会長 川崎 喜正

The first page special feature

一般会計及び特別会計収入支出予算書総括表

拠点区分	本年度予算額
一般会計（社会福祉事業拠点区分）	322,226,000
特別会計（収益事業拠点区分）	6,600,000
合 計	328,826,000

平成 23 年 7 月 27 日付で、厚生労働省から社会福祉法人新会計基準の制定にかかる通知がありました。これによって、新会計基準については、平成 24 年 4 月 1 日から適用されましたが、平成 27 年 3 月 31 日（平成 26 年度決算）までの間は、従来の会計基準によることができるとする経過措置期間が設けられたため、本会でも、この経過措置期間は旧会計基準を準用してきました。今般、この経過措置期間が満了したことから、平成 27 年度より新会計基準に移行することとなりました。そこで、新会計基準の制定を受けて全国社会福祉施設経営者協議会が作成した「社会福祉法人モデル経理規程」に基づく規程の改廃などの事務手続きを済ませ、下記の会計区分に基づいて、予算を編成しました。

（単位：千円）

平成二十七年度
社会福祉法人三浦市社会福祉協議会事業別財源別一覧表

拠点区分	地域福祉推進事業拠点区分					介護保険事業拠点区分	障害者自立支援事業拠点区分			収益事業区分	法人合計	
	法人運営	地域福祉推進	人材養成研修	共同募金配分	総合相談		介護保険	障害者就労支援事業	障害者デイサービス	児童デイHUGくみ		
								就労支援どんまい	ゆずりハ	HUGくみ		
会費収入	5,200	0			0	0	0	0	0		5,200	
寄付金収入	650	0			0	0	0	0	0		650	
三浦市補助金収入	37,648	509			658	0	0	0	0		38,815	
神奈川県補助金収入	0	100			0	0	0	0	0		100	
共同募金配分金収入	0	0	6,650		0	0	0	0	0		6,650	
三浦市受託金収入	0	0			33,654	0	0	0	0		33,654	
神奈川県受託金収入	0	0			3,606	0	0	0	0		3,606	
事業収入	0	115	1,000		328	0	0	0	75		1,518	
介護保険事業収入	0	0			20,972	113,601	0	0	0		134,573	
就労支援事業収入	0	0			0	0	11,652				11,652	
障害福祉サービス等事業収入	0	0			5,171	0	15,404	27,826	36,612		85,013	
その他収入	0	420			0	180	0	195		6,600	7,395	
収入合計	43,498	1,144	1,000	6,650	64,389	113,781	27,056	28,021	36,687	6,600	328,826	
人件費支出	48,968	0	166		45,322	59,885	15,193	18,141	18,073		205,748	
事業費支出	12,488	8,745	936		8,704	26,036	113	8,903	3,991		69,916	
事務費支出	2,718	18			1,690	2,882	0	428	174		7,910	
就労支援事業支出							11,331				11,331	
助成金支出		3,400									3,400	
その他支出		1									1	
事業活動支出計	64,174	12,164	1,102		55,716	88,803	26,637	27,472	22,238		298,306	
事業区分間繰入金収入	6,600										6,600	
サービス区分間繰入金収入	42,724	11,020	102		1,936			63			55,845	
その他の活動による収入合計	49,324	11,020	102		1,936		63				62,445	
事業区分間繰入金支出										6,600	6,600	
サービス区分間繰入金支出			6,650		9,154	24,561	482	549	14,449		55,845	
退職手当積立預け金支出	2,992				1,455	417					4,864	
その他の活動による支出合計	2,992			6,650	10,609	24,978	482	549	14,449	6,600	67,309	
当期資金収支差額合計	25,656										25,656	
老人福祉振興基金積立金					2,509	9,493	0		4,414		16,416	
地域福祉振興基金積立金					3,859	0	419	549	4,413		9,240	

三浦市総合福祉センターからのお知らせ

Important news

三浦市社協・三浦市社協職員会が寄付！

地域をつなぐはつらつフェスタとみうら市民まつりにおいて「南三陸町ぬぐもり物産展」をおこなった際の売上金を南三陸町に寄付させていただきました。お買い上げにご協力いただいた皆様！ありがとうございました！（杉崎）



寄付総額は 8 万円。南三陸町ご出身の三浦地域資源ユーズ株式会社・千葉智綱部長に寄付金を届けていただきました。写真は千葉部長（右）と遠藤健治副町長です。後日、丁寧なお礼状も頂戴しました。

三浦市総合福祉センターのご利用要件が変わります！

貸館の利用について

- 5月より貸館の利用時間を原則として、月～金曜日の8時30分から5時までとさせていただきます。印刷機のご利用も同様です。
- 社協の事業で使っている時は貸出はできません。
- 4月以降の貸館については、社協会員、賛助会員の方が優先となります。（出口）

※最近、壁紙や備品の破損が多く見受けられます。このセンターの運営は、市民の皆様からのご寄附や会費で運営されています。破損された場合、速やかに職員にお申し出ください。利用者の過失により修繕等が発生した場合は、実費を請求させていただきます。また、駐車スペースには限りがございます。来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。なお、小さいお子様をお連れの方は、お子様から目を離さないようお願いいたします。駐車場などで絶対に遊ばせないでください。

三浦市総合福祉センターのご利用は…☎888-7347

三浦市社協—おかえりなさいプロジェクト



三浦市社協事業課長
成田慎一

おかげりなさいプロジェクトとは、脳卒中をはじめとする脳血管疾患、骨折・関節疾患をはじめとする運動器疾患などにより入院生活を余儀なくされた方々の、退院後の療養生活を安心・安全なものとするため、理学療法士・地域包括支援センターのスタッフ、一級建築士らがチームを組んで在宅療養環境を整えるパッケージサービスのことをいいます。プロジェクトのメンバーが、当該者の自宅を訪問し、必要な福祉用具の提案・選定や住宅改修等の環境整備、退院後の食生活の指導に至るまでをセットにしてご提供するというものです。

せて身体障害者手帳の取得が済んでいなかつたので、ご家族に交付の手続きを依頼しました。そこで、その際も、ご家族が安心して手続きを済ませられるよう、市役所や病院とのやり取りのお手伝いをさせていただきました。しかし、M氏を支えるチームづくりが始まった矢先、暑い夏が続いていた九月から、M氏は入退院を繰り返すようになつた。そこで、M氏の家族が安心して手続きを済ませられるよう、市役所や病院とのやり取りのお手伝いをさせていただきました。



平成27年4月、退院後のM 氏歩行器歩行の状況

です。そして、十一月に入り、入院していた病院のケースロード会議をおこないたいとの申しことしあり、今度は当会の「おかえりなさいプロジェクト」を通じて、在宅復帰を支援することになったのです。これによつて一度は止まりかかっていた住宅改修も動き始めました。十二月にはご家族のご意向を伺うため、三度ご自宅を訪問。その結果、急速に退院の話しが進むことになるのです。しかし、当会としては、未だ身体障害者手帳の取得が進んでいないことや自宅のバリアフリー化が進んでいない現状から、このままでは、M氏が自立した在宅生活をおこなうことは困難であると考え、その旨を説明し、退院を一時延期していただきました。そして、今年に入り、一月の担当者会議を経てから、いよいよ退院に向かくことにしました。そして、この動きが活発化してきました。同月末、身体障害者手帳を取得。二月半ばにはトイレ等の手すりの設置工事が完了しました。この自宅の評価をおこなうことに。その際には、福祉用具の業者にもチームへの参加を求める

今回のM氏の件だけでなく、
当会には杖やスロープに関する
相談が多く寄せられます。そ
の都度迅速に対応しております
が、単に、サービスに繋げる
だけでなく、在宅生活をアフタ
ーフォローすることのできる
「おかえりなさいプロジェクト」
と地域福祉センターの新リ
ハビリ室を在宅復帰推進の両
輪として是非、ご活用いただき
たいと願っております。



↑平成26年8月、初回自宅訪問の際のトイレ

←平成27年2月、住宅改修完了
時のトイレ内手すり

です。そして、十一月に入り、
入院していた病院のケースワ
ーカーより、M氏を交えて担当
者会議をおこないたいとの申
し入れがあり、今度は当会の
「おかえりなさいプロジェクト
」を通じて、在宅復帰を支援
することになったのです。これ
によつて一度は止まりかかっ
ていた住宅改修も動き始めま
した。十一月にはご家族のご意
向を伺うため、三度ご自宅を訪
問。その結果、急速に退院の話
しが進むことになるのです。し
かし、当会としては、未だ身体
障害者手帳の取得が進んでい
ないことや自宅のバリアフリ
ー化が進んでいない現状から、
このままでは、M氏が自立した
在宅生活をおこなうことは困
難であると考え、その旨を説明
し、退院を一時延期していただき
ます。

車いすの選定や一部段差の解
消も必要なことがわかりまし
た。退院を待ちわびるM氏でし
たが、最終的な調整が残つてい
ることや、まだ病院でのリハビ
リが必要であることを伝え、退
院を励みに、リハビリに努めて
いただきました。その
努力の甲斐もあつて、三月十七
日、主治医やM氏を交えた担当
者会議において、待ちに待つ
た、退院が決まったのです。M
氏が楽しみにしているのは、当
会の「ゆずリハ」に通うことと、
ご家族の手料理を食べること。
二十三日に退院してからは、目
標どおり「ゆずリハ」に元気に
通われ、リハビリにも意欲的に
取り組んでいます。特に四月に
オーブンしたばかりのリハビ
リ室の利用を心待ちにしてい

自立相談支援センター「いっしょ」—生活困窮者支援事業開始



自立相談支援センター「いっしょ」のスタッフ。左から鈴木光永、前田佐知子、落合睦美

自立相談支援センター「いっしょ」
三浦市総合福祉センター「安心館」内
〒238-0102 三浦市南下浦町菊名 1258-3
TEL 888-7347 / FAX 889-1561

題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認するこ

とを通じて個々人の状態にあつた支援計画の作成等をおこない、②から④までの事業や「住宅支援給付事業（申請手続きの支援を含む）などの関係事業との連携を含めた支援を包括的に

おこないます。そして、三浦市（福祉事務所）やハローワーク、地域包括支援センター等の関係機関とのネットワークづくり、社会資源の開発をめざします。

生活困窮者の家計の再建に向け、家計収支全体の改善を図る観点から、家計に関する相談に対応し、家計管理に関する指導、生活福祉資金の貸付けの斡旋等の支援をおこないます。このため「いっしょ」のスタッフは、ファイナンシャルプランナーの資格を取得しました。

生活困窮者の家計の再建の貸し付け事務もおこなう、生活困窮者の総合的な支援をおこなっていきます。（前田）

事業

自立支援事業といった権利擁護事業や生活福祉資金の貸し付け事務もおこなう、生活困窮者の総合的な支援をおこなっていきます。（前田）

事業

生活困窮者の家計の再建に向け、家計収支全体の改

善を図る観点から、家計に関する相談に対応し、家計管理に関する指導、生活福

祉資金の貸付けの斡旋等の支援をおこないます。このため「いっしょ」のスタッフは、ファイナンシャルプランナーの資格を取得しました。

生活困窮者の家計の再建に向け、家計収支全体の改

善を図る観点から、家計に関する相談に対応し、家計管理に関する指導、生活福

近年の社会経済環境の変化に伴い、生活困窮に至るリスクの高い人々や稼働年齢層を含む生活保護受給者が増大しています。この三浦市でも、市民生活を重層的に支えるセーフティネットの構築が急がれています。こうした状況に対応するため整備されたのが、生活困窮者自立支援法です。三浦市社会福祉協議会では、この法律に基づいて実施する「生活困窮者自立支援事業」を三浦市から受託し、この四月から実施することになりました。新し

①自立相談支援事業（受託事業）

三浦市社会福祉協議会では、この事業を自立相談支援センター「いっしょ」で取り扱います。「いっしょ」が実施する生活困窮者自立支援事業は、受託事業、自主事業併せて、大きく次の四つの事業となります。

②就労促進のための支援事業（自主事業）

短期間の集中的な就労支援をおこなつても一般就労の構築が急がれています。こうした状況に対応するため整備されたのが、生活困窮者自立支援法です。三浦市社会福祉協議会では、この法律に基づいて実施する「生活困窮者自立支援事業」を三浦市から受託し、この四月から実施することになりました。新し

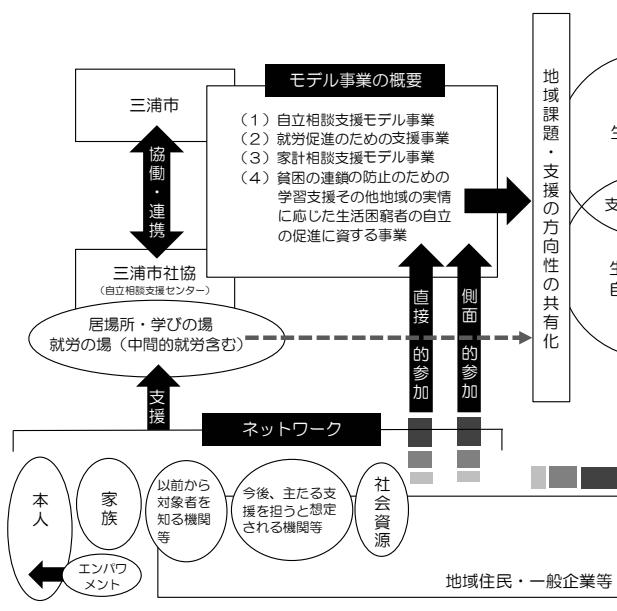
③家計相談支援事業（自主事業）

生活困窮者の相談に応じ、生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認するこ

④貧困の連鎖の防止のための学習支援その他地域の実情に応じた生活困窮者の自立の促進に資する事業（自主事業）

大学生や教員OBをボランティアで募り、かつ、組織化（三浦市ボランティアセンター）の登録団体として、学童に関しては、復習と宿題といった基礎的な学習機会を中心には、また、生活困窮により学習機会を得られなかつた成人に関しては、学び直しの機会を提供していきます。

「いっしょ」では、生活困窮者自立支援事業の他に、法人後見事業や日常生活



左図は、三浦市社会福祉協議会が想定する「生活困窮者自立支援事業」の概念図。三浦市との連携なくして、この事業の実現がないことがわかります。また、多様な主体の参加が求められます。

「どんまい」が就労移行支援事業を始めます



三浦市総合福祉センター1階ロビーに開店した就労支援センター「どんまい」が営業する喫茶「三遊間を抜けました」。美味しいコーヒー、紅茶といったソフトドリンクが100円均一。焼きそばやナポリタン、カレーライスといった軽食も楽しめます。他に自家製無農薬野菜なども低廉な価格で販売します。皆様どうぞ気軽にお越しください。大好評のマグロの角煮は、地方発送承ります。

B型事業所として親しまれてきた「どんまい」が、新たに就労移行支援事業も始めることになりました。センター「どんまい」に改めどんまいが実施する、就労移行支援事業の主なメニューは次のとおりです。

①就労体験機会の提供
②生産活動その他の活動の機会の提供（喫茶（コーヒー）及び売店（加工食品の販売。手づくり弁当、マグロの角煮等）の営業

③就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供（パソコン教室・就労に関する学習会・ビジネスマナー教室）
④職場実習の実施、受入先の確保・施設外就労の実

行）
⑤公共職業安定所での求職登録等、求職活動の実

行）
⑥適性や要望に応じた職場開拓

（就寝時は段ボール一枚と毛布のみを支給）にあります。就寝時間は二〇時。真っ暗闇で何もすることができない中、固体のブースで販売します。）

無償で貸与を受けた「農地」において、無農薬野菜を栽培し、これを売店のブースで販売します。）

⑦職場定着を促進するための職業生活における相談等の支援の継続

これによつていわゆる「ダイレクトB問題（特別支援学校を卒業するなりB型を利用すること）」に

対応していくことになります。本来、B型事業の利用は「企業に勤めたけれど、様々な事情で離職した」とか「企業就労を目指したもの、就職先の縁がなかつた」あるいは「年

齢が五十歳を超えて、企業就労はなかなか難しい」とい

た。それ以外にも、日頃家庭でできる備えや、避難所で発生しやすい病気とその予防策、避難所における高齢者や障害者とのコミュニケーションの取り方についての学習や、グループワークなどもおこなう予定です。親子での参加も歓迎します。奮ってご参加ください。

＊＊＊

日時：平成二十七年六月六日（土）十五時～

七日（日）十時～※雨天決行

場所：三浦市総合福祉センター

参加募集人數：十五名

※お申込み・お問合せ：三浦市社会福祉協議会事務局
(杉崎) 888-17347まで

仮想避難所一泊一日体験
参加者募集中

三浦市社協としては初めての試みとなる被災時を想定した実践的な避難所体験会をおこないます。

実践的とする所以は、①仮想避難所で宿泊体験をおこなうということ（就寝時は段ボール一枚と毛布のみを支給）にあります。就寝時間は二〇時。真っ暗闇で何もすることができない中、固体のブースで販売します。）

お使い物用から、ご自宅用まで100種類のお線香からお好みの香りを見つけてください。

市内配達無料！
TEL/FAX 881-4714
木曜日定休/営業時間午前9時～午後7時

**三浦市
ボランティア
情報**
888-7347



寄託

社会福祉事業のために
(敬称略)
△中澤一江△佐藤和子△匿名

訪問歯科診療

歯のお医者さんと歯のヘルパーさんがお宅に伺います！

○訪問歯科診療を通して、高齢者の口腔衛生の向上を支援します。
○歯科治療でお困りの高齢者と家族をサポートします。身体介護が必要な高齢者や障害者のために往診します。往診のご用命はお電話で！

大矢部歯科医院 046-833-5809

238-0224 横須賀市大矢部2-5-20 あづまビル(Ⅱ)1階



介護付有料老人ホーム

**Sアミーユ三浦
入居一時金無料**

16万8250円(税込)

家事、食事(30日の場合)、管理費込み。介護サービスの1割負担金、居室電気代、居室上下水道代、おむつ代などは別途必要となります。

徹底した個別ケア。
キッチン・浴槽等を完備した完全個室。

ご見学随時承っております。

■お問い合わせ先: Tel 046-880-0711

担当・高羽

仏壇・仏具・お数珠・線香

お使い物用から、ご自宅用まで100種類のお線香からお好みの香りを見つけてください。

市内配達無料！
TEL/FAX 881-4714
木曜日定休/営業時間午前9時～午後7時



福祉施設訪問記

〒238-0224 三浦市三崎町諸磯
1523-1

10

☏046-880-1828

第13回



開設七年目を迎える油壺マリアナヒルズ。竹澤孝子施設長（写真）は、老健の現場で経験を積み、昨年の十月から施設長に。入居者を対象とした、理学療法士による機能訓練に加え、職員にも認知症ケアの講習会を開くなどサービスの向上に余念がありません。また、ボランティアによる催し物も定期的におこない、食事には三浦の野菜を使うなど、地域密着型の家庭的な老人ホームをめざしています。屋上からは、諸磯湾と富士山を一望することができ、豊かな自然に囲まれた施設です。（石渡）

アンドを利用して
の感想を伺うと「介護
保険についてほとん
ど知らなかつた。ケア
マネージャーに相談
することで、使いやす
いベッドや室内の手
すりなど、自分に合う
ものに囲まれて生活

聞の写真コレクションに入選したことのあるほどの腕前です。今後やつてみたいことを伺うと「リハビリに挑戦して、美しい三浦の海を撮影しに行きたい。」と新たな目標を見つけられたようです。(杉崎)

ペチラン漫談家のような、味わい深いしみじみとした語り口の今村さん。

阪神タイガースファンの今村さんは、大
阪生まれ。五十年前、浦市に越してこられ
ました。「海も（自家）

できるようになり、とても便利になつた。」

総合相談支援センター「安心館」内 **ケアマネジメントセンター アンド** のお問い合わせは ☎ **046-888-7347** (代表)

Special report



猪倉弁護士のワンポイント法律相談

法律相談の日程は、裏面の福祉カレンダーをご参照ください。

元気！社協の職員 File No. 13



(本人談)

定年退職後、第二の職場として、福祉の仕事に携わりたいという思いが強くあり、障害者デイサービスゆずりハで働き始めて五年目になります。主に洋迎時のドライバー・機能訓練のお手伝いをしています。常に心がけていることは、利用される方が安全にセンターに来所され、一日充実した時間を過ごしていただくことだと思っていました。そして自宅に気持ち良く帰宅してもらうことだと考えています。利用者さんとの会話もとても楽しみです。四月から、新たに設備の充実した機能訓練室で理学療法士・ス

三浦市地域福祉センターの市民交流室（洋室・和室各1室）を、市民活動団体等に開放しています。地域福祉センターにおけるサロンと貸館（有料・要予約）についてのお問い合わせは、☎881-7770まで。

福祉カレンダー

2015年5月

- 13日 一級建築士住宅改造相談
- 16日 個別療育相談
- 17日 個別療育相談
- 22日 予防体操教室
(あんじゅ三崎口)
- 22日 無料法律相談
(総合福祉センター)
- 27日 リハビリ体操教室
(地域福祉センター)
- 27日 どんまい市役所弁当販売
- 28日 遊びの広場きらきらキッズ

2015年6月

- 6日 仮想避難所1泊2日体験
- 7日 仮想避難所1泊2日体験
- 10日 一級建築士住宅改造相談
- 20日 個別療育相談
- 21日 個別療育相談
- 24日 リハビリ体操教室
(地域福祉センター)
- 24日 どんまい市役所弁当販売
- 25日 遊びの広場きらきらキッズ
- 26日 予防体操教室
(あんじゅ三崎口)
- 26日 無料法律相談(はにかみ屋)

みうらふれあいサロン情報

2015年5月

- 11・18日 地域福祉センター
- 13・20・27日 三浦漁村センター
- 14・21・28日 勤労市民センター

2015年6月

- 1・8・15日 地域福祉センター
- 10・17・27日 三浦漁村センター
- 11・18・25日 勤労市民センター

この予定は、予告なく変更される場合があります。各予定のお問い合わせは…

☎888-7347



チケットのご購入は
お早めに！

講師の稲川淳二さん
問合せ・三浦市社会福祉協議会
☎888-17347

主 催・三浦市・社会福祉法人三浦
市社会福祉協議会
共 催・三浦市ボランティア連絡協
議会他

日 時・七月五日(日)十三時三十
分から(開場十三時)
入場料・千円(チケット前売り制)
※入場料の一部が被災地支援

に充てられます。
「親」としての立場から「自分はこの子の父親である」という事實を受け入れるまでの生々しい心の叫びや、父親としての葛藤についてお話を伺います。(杉崎)

株式会社 ルナランド
三浦の介護はルナランドに
●訪問介護は… お任せください！
ルナランド介護センター 889-1088
ルナランド介護センター三浦 874-8013
●デイサービスは…
ルナランドデイサービス 874-8014
●居宅介護支援は…
居宅介護支援事業所ルナランド 874-8015
*デイサービス、ボランティア募集中！
お気軽にお問い合わせください。



はなことばデイサービス
縁じよい横須賀
神奈川県内最大級
デイサービス
デイサービスのご利用が初めての方も
是非お問い合わせください
〒238-0025 横須賀市衣笠町44-6
☎046-876-5494 (受付時間9:00~18:00)
<http://hanakotoba.co.jp/enjoy/index.html>

平成27年度採用職員のご紹介

information



三浦市社会福祉協議会では、平成27年度に新たに5名の職員を採用しました。後段左から山崎まさみ(居宅介護支援事業所アンド)、前川和子(居宅介護支援事業所アンド)、齋藤あゆみ(児童発達支援事業所HUGくみ)、加藤将理(地域包括支援センターおまかせ)、齋藤清香(地域包括支援センターおまかせ)。入職初日には、三浦市長からも激励されました。(出口)

あいがとう高齢者ふれあいセンター

information



介護予防の拠点として親しまれてきた「高齢者ふれあいセンター」が3月31日付で閉館されました。最終日には指定管理を受けていた三浦市社会福祉協議会が「あいがとう高齢者ふれあいセンター～お別れのつどい」を開催、同施設の生みの親でもある杉山実副市长も駆けつけてください、共に別れを惜しました。延5万人を超える利用者の“生きがい”づくりに貢献してきた施設が、誕生から12年で幕を閉じます。(高井)

児童発達支援事業所HUGくみ 春の遠足

Simple report



3月27・30日の2日間、よこはまズーラシアに遠足に行ってきました。両日とも天候に恵まれ、普段あまり見ることのない動物たちを見て、喜ぶ子がたくさんいました。青空の下で食べるお弁当は普段食べるお弁当の何倍もおいしかった気がします。子ども達もスタッフも満喫できた遠足になりました。(長谷川)

三浦市市制60周年・三浦市社協設立60周年記念福祉講演会のお知らせ

information

三浦市市制施行六十周年・三浦市社会福祉協議会設立(任意団体)六十周年を記念して、福祉講演会を開催いたします。講師に、「怪談」でお馴染みの稲川淳二さんをお招きします。タレントやデザイナーなど多方面で活躍されている稲川さんですが、今回は「命・大切に、思うこと」と題し、先天性の重度障害を抱えた息子の「親」としての立場から「自分はこの子の父親である」という事実を受け入れるまでの生々しい心の叫びや、父親としての葛藤についてお話を伺います。(杉崎)

命・大切に、思うこと

かながわ信用金庫



羽ばたく翼、
ともに築く未来

<http://www.shinkin.co.jp/kanagawa>